

授業科目 人体の構造と機能 I

【担当教員名】 山口 康昭、西野 幾子、山田 まりえ	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	45

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

人体の基本的構造を全体的に理解する。器官・組織系、骨格系、筋系、循環器系、内臓系、内分泌系、感覚器系、神経系などについて、それぞれの形態・構造を理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 人体を構成する細胞の構成要素と機能を説明できる。
2. 種々の組織の分類とその特性を説明できる。
3. 生活行動を支える運動系について、形態と構造を説明できる。
4. 流通路としての循環系について、形態と構造を説明できる。
5. 呼吸と栄養摂取の機構について、形態と構造を説明できる。
6. 排泄および性と生殖に関する機構について、形態と構造を説明できる。
7. 神経系調節の機構と感覚器系について、形態と構造を説明できる。
8. 液性調節（内分泌系）の機構について、形態と構造を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	解剖学序論	解剖学とは 解剖学用語 看護学との関わり	1	講義（講義・実習内容については
2	組織学1	組織学総論 人体を構成する細胞と細胞内小器官	1,2	講義 変更する場合があります）
3	組織学2	細胞と四大組織 上皮組織 支持組織 筋組織 神経組織	2	講義
4	骨格系1	骨の構造 骨学各論 頭蓋 脊柱	3	講義
5	骨格系2	胸郭 上肢 下肢	3	講義
6	筋系1	頭頸部の筋 胸腹部の筋	3	講義
7	筋系2	上肢の筋 下肢の筋	3	講義
8	脈管系	心臓 肺循環・体循環 動脈系	4	講義
9	消化器系	消化管 肝臓・膵臓	5	講義
10	呼吸器系	気道 気管と気管支 肺	5	講義
11	泌尿生殖器系	泌尿器 男性生殖器・女性生殖器	6	講義
12	内分泌系	内分泌腺各論 各種ホルモンの役割	8	講義
13	神経系	中枢神経系 脳神経と脊髄神経 自律神経	7	講義
14	感覚器系	視覚器 平衡聴覚器 皮膚とその付属器	7	講義
15	骨学実習1	分離骨標本の観察とスケッチ	3	実習
16	骨学実習2	分離骨標本の観察とスケッチ	3	実習
17	筋学実習1	上肢・下肢模型の筋の観察とスケッチ	3	実習
18	筋学実習2	上肢・下肢模型の筋の観察とスケッチ	3	実習
19	組織学実習1	人体組織標本の顕微鏡観察とスケッチ	2	実習
20	組織学実習2	人体組織標本の顕微鏡観察とスケッチ	2	実習
21	人体解剖見学実習	系統解剖の見学		実習・学外

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	入門人体解剖学 改訂第4版	藤田 恒夫	南江堂	1999年 ¥5,250
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況・態度、小テスト、スケッチブック、および期末試験の総合評価	【履修上の留意点】 短期間に「解剖学」の全範囲を勉強しますので、予習・復習を習慣づけてください。不定期に小テストをおこないます。欠席をしないよう特に注意してください。なお、実習についての注意点は、授業中に伝達します。
---------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

看護学科 専門